

### 日本におけるキュビスムーピカソ・インパクト

とき・11/23(水・祝)～1/29(日)

ところ・2階展示室

内容・モチーフを幾何学的に解体、再構成するキュビスムは、20世紀初頭、ピカソらによって生み出されました。戦前の日本の美術家はその革新的な作風を熱心に取り入れます。また、戦後、ピカソの《ゲルニカ》などに影響を受けた美術家は、様々な作品に再びキュビスムの表現を応用します。大正から戦後間もない時期にかけての日本におけるキュビスムの展開を探ります。

観覧料・一般1100円(880円)、大高生880円(710円)  
※( )内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。

《関連イベント》

○レクチャー&ディスカッション「ピカソ・インパクトー1950年代の日本におけるキュビスムの影響」

とき・12/4(日)【第一部】13:30～14:15(13:00開場) [レクチャー] 尾崎信一郎氏(鳥取県立博物館副館長)

【第二部】14:30～16:00 [ディスカッション] 池田龍雄氏(本展出品作家) × 尾崎信一郎氏 × 建畠哲(当館館長)

ところ・2階講堂

内容・戦後間もない時期の日本におけるキュビスムの受容とその影響について、当時から第一線で活躍を続ける美術家・池田龍雄氏、1950年代の美術に通暁する尾崎信一郎氏、そして2005年に企画した展覧会「アジアのキュビスム」によって、各国でのキュビスムの展開を知る館長・建畠哲が語り合います。

定員・100名(当日先着順) / 費用・無料

○上映会「メトロポリス」

とき・1/15(日) 11:00～、15:00～の2回上映(開場は30分前)

ところ・2階講堂

内容・未来都市メトロポリスを舞台に、権力者の息子・フレージャーと労働者に希望を与える女性・マリアを通じて、階級間の闘争を描く。ヨーロッパで前衛芸術が隆盛した時代に制作されたSF映画の金字塔。

監督＝フリッツ・ラング、1927年、ドイツ、90分、16mmフィルムによる上映/英語字幕(日本語のあらすじを配布)

フィルム提供：かもめ座FILMアーカイブ(<http://www.kamomeza.com/>)

定員・各回100名(当日先着順) / 費用・無料

○担当学芸員によるギャラリー・トーク

とき・12/24(土) 15:00～15:30

ところ・2階展示室

費用・企画展観覧料が必要です。

※ご希望のグループに本展の見どころをご案内します(予約制)。お問い合わせ・ご予約は教育・広報担当(電話 048-824-0110)まで。

### アートフルプログラム MOMASの扉

とき・毎週土曜日 13:30～15:30

対象・幼児から大人まで / 費用・「工房」、「親子クルーズ(企画展物語)」は材料費500円。その他は無料。 / 申込方法・館内で配布する申込用紙によりFAXでお申し込みください。申込用紙はホームページからもダウンロードできます。

1月分の申込みを12/1(木)から受け付けます。

1/7(土) 親子クルーズ(MOMASコレクション) [小・中学生+保護者]

1/14(土) 親子クルーズ(企画展物語) [小・中学生+保護者]

1/21(土) 工房 [小学生から大人まで]

1/28(土) わくわく鑑賞ツアー [※申込不要]

2月分の申込みを1/5(木)から受け付けます。

2/4(土) みる+つくる(MOMASコレクション) [小・中学生]

2/11(土) 親子クルーズ(MOMASコレクション) [小・中学生+保護者]

2/18(土) アート★ビンゴ [※申込不要]

2/25(土) みる+つくる(企画展物語) [小・中学生]

### MOMASコレクション(収蔵品展)

■2016年度 第3期

とき・10/22(土)～1/15(日)

ところ・1階展示室

観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)

※( )内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。

◇セレクション: デルヴォーとか瑛九とか

◇絵画と彫刻の間

◇橋本真之《果実の中の木もれ陽》これまで/これから

《関連イベント》

○サンデー・トーク

内容・学芸員が展示作品から1点を選んで展示室内で解説します。

費用・MOMASコレクション観覧料が必要です。

とき・12/18(日) 15:00～15:30

作品・モリス・ドニ《シャグマユリの聖母子》1925年(図版a) / 担当学芸員・平野到

とき・1/15(日) 15:00～15:30

作品・大浦一志《杉並区阿佐ヶ谷南3丁目23-13 普賢岳「再立」》1995年(図版b)

担当学芸員・中村誠



■2016年度 第4期

とき・1/21(土)～4/16(日)

ところ・1階展示室

観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)

※( )内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。

◇セレクション: フジタとかパスキンとか

レオナルド・フジタやジュール・パスキンなど、西洋近代の名品に日本近代の作品を織り交ぜて、コレクションのハイライトをご覧ください。

◇近代の日本画

横山大観、橋本関雪、鏗木清方など、近代日本画の名品を紹介します。

◇特集: 古川吉重

平成27年度に寄贈された4点に既収蔵の作品を加え、アメリカと日本で活躍した画家の軌跡をたどります。

◇谷川晃一《Jazz》

画家、評論家、絵本制作などで活躍している谷川晃一。近年の版画集《Jazz》から作品を紹介します。

※1/21(土)、1/22(日)をのぞく会期中の毎日14:00から30分程度、1階展示室で美術館サポーター(ガイド・ボランティア)による作品ガイドを開催します。参加にはMOMASコレクション観覧料が必要です。

### 一般展示室(地階)

※日程・内容は変更される場合があります。最新の情報については各主催者へお問い合わせください。

※展示により観覧時間(特に最終日の終了時間)が異なります。

◆12/6(火)～12/11(日)

古布に恋して 江村真佐子 パッチワークキルト展(パッチワークキルト)……………一般展示室4

◆12/7(水)～12/11(日)

障害者アート企画展「UFU♥SAITAMA±0」展…一般展示室1

◆12/8(木)～12/11(日)

佳羊会展(油彩)……………一般展示室3

◆12/13(火)～12/18(日)

50回全日本書道芸術展(書)……………一般展示室1・2

敏龍彦写真展「山水」/第6回敏龍彦ワークショップ「それぞれの瞬」(写真)……………一般展示室3

ほうりきみわ写真展(写真)……………一般展示室4

◆1/10(火)～1/15(日)

『tan tan tan の宝物』(パステル、点描曼荼羅)……………一般展示室4

◆1/11(水)～1/15(日)

宝船展Ⅱ……………一般展示室1

◆1/17(火)～1/22(日)

Masa稲葉 幻想展(平和を祈り)(写真)……………一般展示室3

◆1/17(火)～1/29(日) ※1/23(月)は休館日

ヨシズミ トシオ展(油彩、ドローイング、版画、水墨画、アクリル画)……………一般展示室4

◆1/24(火)～1/29(日)

文教大学教育学部美術専修 卒業制作展(油彩、日本画、彫刻、切り絵)……………一般展示室1

個展 大久保和繪(水墨画)……………一般展示室3

### 今、ポスターにできること

JR北浦和駅西口の階段の踊り場には、ポスターなど美術館の広報物を貼っているコーナーがあります。今こちらに掲示されているMOMASコレクションのポスターは、ポスターでありながら、各作品をチラシのように持ち帰れるようになっています。こうした駅での新しい試みも含め、今年度のMOMASコレクションのポスターのデザインを手掛けている川村格夫さんにお話を伺いました。

デザインの仕事に関心を持ったのは、東京藝術大学音楽環境創造科に在学中、友達のフライヤーや結婚式の招待状を作ったりデザイナーの本を読んだりして、デザイナーって面白いなと思ったことがきっかけです。卒業してからはずっとフリーで、これまで美術館やギャラリー、作家など美術関係の仕事を手掛けてきました。

初めてこの美術館に来たとき、人がたくさん訪れる公園の中にあるな、という印象を持ちました。駅から近く、なおかつ公園と美術館の距離も近いので、美術が好きの人だけでなく色々な人が入っていく、そうした空間の特徴を生かしたいと考えました。スマホなどメディアを常に携帯している時代において、ポスターはメディアとしてはかなり古いものだと思います。ただそれと同時に、美術という視覚表現に関わるメディアとして今だからこそ、ポスターに何が出来るのかということも重要です。そこで、ポスターとそれを見た人が何か関係性を築ける仕掛けを作りたいと思いました。

通常の展覧会だと美術館以外の場所にチラシが置いてあることが多いけれど、チラシを作らないMOMASコレクションの場合は美術館に行かないとその情報を見られない。北浦和駅のポスター・デザインは、駅にチラシがあればそれを手に取って持ち帰ることができて、美術館に行かない人でもその存在を知ることが出来るのでは、という発想です。デザインをシンプルにしているのも、チラシにしたり、パーツとして構成したりと色々な展開をできるようにするためです。

また、MOMASコレクションのポスターは、その時々で内容は変わるけれど年に4回継続的に作るものなので、良かったことを残しつつ、色々な実験ができることも魅力です。コレクション展は収蔵作品をベースに、企画をバージョンアップしたり新しいことにチャレンジしたり、試行錯誤できるものだと思います。そうしたコレクション展にしかできないことやその魅力を、デザインに上手く反映したいと考えています。

駅のポスターコーナーには派手な色などを強調することで目立たせようとしている様々な広告がありますが、美術館のポスターを掲示している一角だけは、それらとは違った論理で、独特の存在感を持ったり目を引く表現がされたりしている方が目立つし、そうしたメディア自体がある種作品のように存在していると面白くなるんじゃないかな。北浦和公園の三角塔も、すごく不思議な場所ですね。例えばトークやワークショップのドキュメントを貼ったりレビューを加えたりと新聞みたいに進展していくと、メディアとして生きる気がします。

(聞き手 H.S.)

### ミュージアム・ショップおすすめ商品

今回は、レンズ付き3Dステレオビューワ&グリーティングカードをご紹介します。カードのレンズを覗くとあの名画が立体的に見える、驚きの3D世界が目の前に広がります。モネとピサロは当館のオリジナルです！おすすめの名画をお友達にプレゼントしてみたいかがでしょう。(I.M.)



《アメージングカード》  
モネ、ピサロ 各500円(税抜)  
ゴッホ、マグリット 各600円(税抜)

### 編集後記

zocalozocalozo 編集後記 zocalozocalozocalozocalozocalozocalozo

急告!! まさかの『ミカロ』第2号、第3号、発行!!  
『ミカロ』とは、学芸員の妄想が生んだソカ造語群のひとつが実体化した『ソカロ』のスピノフ。本紙2016年4-5月号に寄生して創刊号が生まれました。その『ミカロ』が、なんと、雑誌『美術手帖』に寄生して2ヶ月連続リリース!!  
ぜび、BT2016年12月号、1月号を手に取り、見つけてあげてください。(G.U.)  
キュビスム展は鳥取→埼玉→高知と巡回。関東の方はぜひ当館へ!(N.O.)

zocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozocalozo

### AR動画

のマークが付いている写真にスマートフォンをかざすと、動画をご覧いただけます。無料ARアプリ「Aurasma」をApp StoreまたはGoogle Playでダウンロードしてお楽しみください。アプリの使い方については、当館ホームページの「広報紙ソカロ」のページをご参照ください。

埼玉県立近代美術館  
The Museum of Modern Art, Saitama

所在地・〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1  
TEL・048-824-0111 FAX・048-824-0119 URL・<http://www.pref.spec.ed.jp/momas/>  
開館時間・10:00～17:30(展示室への入場は17:00まで)  
休館日・月曜日(1/9は開館)、年末年始(12/26～1/3)  
入館料・無料 観覧料・上記をご覧ください

交通・JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅まで、それぞれ約35分。  
※当館に来館者専用の駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります(企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き)。団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたしますが、台数に限りがありますので予めご了承ください。

